

明石駅周辺の民間開発との調整状況について

明石駅周辺において検討中の民間開発に関連し、明石駅前歩行者デッキの東側への延伸について、山陽電気鉄道株式会社（以下「山陽電鉄」という。）との調整を進めているところです。

明石駅前歩行者デッキの延伸については、明石市中心市街地活性化基本計画の中で、駅周辺の回遊動線の創出を目的に整備が位置づけられており、山陽電鉄の建築計画に合わせたデッキ延伸について整備に向けた検討を行っています。

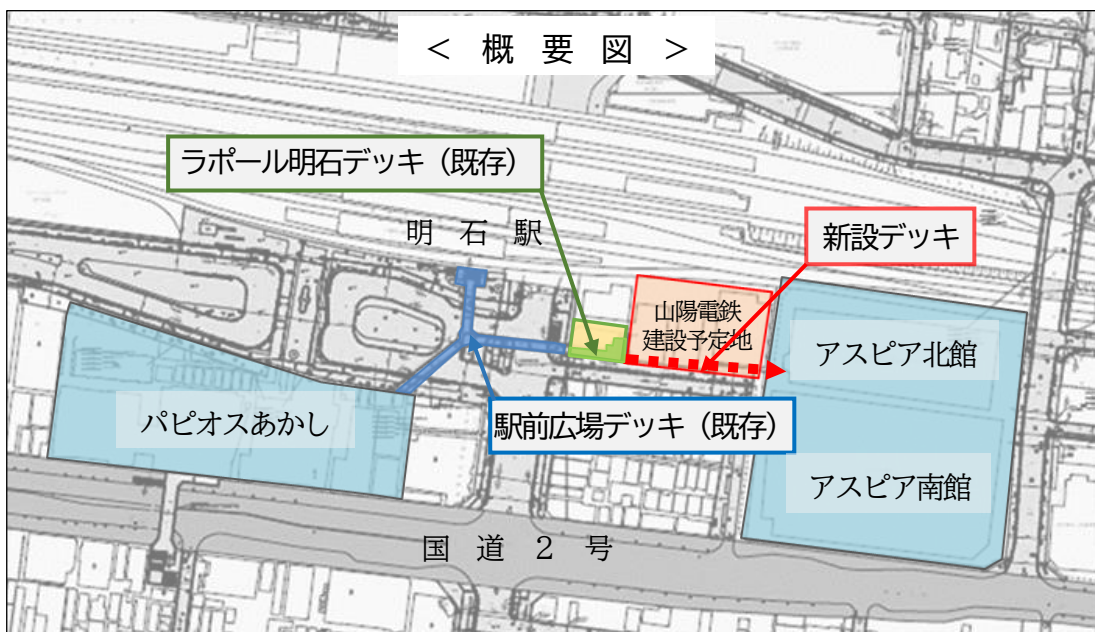
つきましては、現在検討中のデッキ延伸にかかる、事業内容、概算事業費及び現在の調整状況などについて報告します。

1 歩行者デッキ延伸に向けた検討について

(1) 事業内容

明石駅前の歩行者デッキについては、現在、山陽明石駅から、南側のパピオスあかしまで(青色部分)と、東側のラポール明石2階部分まで(緑色部分)が整備されているところです。

この度、本市は、山陽電鉄がラポール明石の東側に計画する建物にあわせて、明石駅周辺の回遊性を高め、更なる賑わいの向上を図るため、アスピア明石までデッキを延伸することを検討しています。



(2) 概算事業費

事業にかかる調査費、設計費及び工事費については、他の事例を参考に算出した概算額として、現時点では、約9億円と想定しています。

また、事業費については、国の補助金制度（都市構造再編集集中支援事業・補助率50%）を活用するため、現在、国及び県と調整を行っているところです。

なお、当該事業にかかる調査費及び設計費については、令和7年度の当初予算に計上する予定です。

2 現在の調整状況

現在、山陽電鉄がラポール明石の東側敷地において建築計画を検討中であり、ラポール明石2階部分の公共通路（歩行者デッキ）と同様に、建物2階の一部に公共通路を整備する方向で同社と協議を進めています。

また、東側のアスパア明石への接続についても、運営会社である明石地域振興開発株式会社と協議を進めており、接続箇所や接続方法、構造、法令上の課題などについて、検討を行っているところです。

3 今後の予定

山陽電鉄は、現在、建築計画の基本構想を検討しており、デッキ部分については、本市が山陽電鉄に委託し、令和7年度より設計（測量・調査を含む）に着手する予定です。設計が完了次第、工事着工する予定ですが、工事完成時期など詳細については未定とのことです。

なお、スケジュールや事業費等の詳細については、事業の進捗などを踏まえ、改めて報告いたします。